

佐久穂小・中学校 キャリア教育便り 2

学校応援団の皆さん

1年間 ありがとうございました

学校応援団の皆様には今年度コロナ禍で色々な体験学習が中止になる中、実施可能な体験学習について感染拡大防止策にご協力をいただき、様々な形でご指導をしていただきました。大変ありがとうございました。お陰様で小・中学校の教育活動も形を変えて何とか実施する事ができ、成果を上げることができました。また、新年度に向けて、児童生徒の健やかな成長のためにお力添えをいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



読書部会



安全パトロール



福祉部会



漢検・見守り



森の子育成クラブ



人材バンク

学校応援団 まとめの会

2月24日(水)に「学校応援団まとめの会」が行われました。新型コロナウイルス感染拡大等の影響もあり参加者は少なかったですが、無事に終了しました。大変な1年でしたが、各部の皆さんにはそれぞれの場面でご協力いただき、佐久穂教育を支えていただきました。ありがとうございました。また、各部会では色々なご意見をたくさんいただきました。新年度に活かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。
※各部ではボランティアの方を募集しています。お問い合わせは佐久穂小・中学校までお願いします。



9年生の巣立ち

9年間の義務教育を終了し、佐久穂中の6回目の卒業生として、この学び舎を巣立っていきます。この1年間はコロナ禍によって、不自由な学校生活を余儀なくされましたが、持ち前の明るさで乗り越えてきました。それぞれの進路に向けて、大きく羽ばたいてください。



5年生 高性能林業機械の体験

1月21日(木)、5年生が林業体験を行いました。本来であれば6月に予定されていた林業体験ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていませんでした。

当日は良いお天気に恵まれ、真冬にしてはとても暖かく絶好の体験日和でした。体験場所は、中部横断自動車道近くの馬越地区にある町有林でした。南佐久北部森林組合様と町役場の林務係の皆さんにご協力をいただき、高性能林業機械試乗体験をさせていただきました。

最初にカラマツの伐倒作業や造材等の様子を見学しました。大きなカラマツが倒れた時は地響きを感じ、子どもたちは「オオーツ」と声を上げました。倒した木は、プロセッサという機械で4mの丸太にカットされていきました。カットされた丸太はフォワーダにきちんと並べて積まれ、丸太のサイズや産地の刻印を押されて運び出されました。



【最後に記念写真】



【伐倒の様子】



【プロセッサで丸太にカット】



【産地の刻印が押される】



【きれいに積まれた丸太】

次に、班ごとに分かれて体験をしました。手のこぎりやチェーンソーを使って丸太を切る体験では、人の力で木を切ることの大変さやチェーンソーの振動を感じながら、機械での効率よく作業できることを体験することが出来ました。また、枝払いや玉切りができるプロセッサで丸太の玉切りを体験したり、大きな丸太を集材運搬できるフォワーダに乗せていただいたり、高性能林業機械の試乗をさせていただきました。初めて体験する大きな機械の試乗ですが、安全に十分注意しながら指導をしていただきました。



【手のこで丸太切り】



【チェーンソーを使って】

終わりの会では、いろいろな質問に答えていただいたり、佐久穂町のカラマツが佐久穂小・中学校の校舎にも沢山使われていることなどを教えていただいたりしました。それから、林業でも機械化が進み、女性でも仕事に就く人が増えてきたことや、ドローンを活用して仕事を効率化していくことなども教えていただきました。

実際に林業の作業を見学、体験し、仕事をしている方のお話を聞くなど、佐久穂町の林業について多くのことが学べ、林業について理解を深めることができました。また、佐久穂町の産業の特色である林業について、携わる方々の苦労や工夫、やりがいを感じ、郷土への愛着を深め、この体験が子どもたちの胸のなかに残っていつまでも残ることを願います。



【プロセッサ】



【フォワーダ】



【ご協力いただいた北部森林組合の皆さん】